

純正のフォルムを崩さない好例 ブラックカラーでまとまりのあるスタイルに

■ AX (アックス)
愛知県名古屋市緑区鳴海町下沙田 131-1
TEL.052-628-5031
<http://www.ax-net.jp/>



AX (アックス) の店頭で並ぶ販売車両から、編集部オススメのJKラングラーを2台紹介しよう。実際に販売している車両なので、店頭でチェックしてもらいたい。



フェンダー内にLEDテールランプを埋め込み、純正パーツを活かしたドレスアップだ。



バンパーはジャオスのフロントスポーツカウル。サイドが切れ上がったデザイン。



テールランプはLED。ブラック仕様が統一し、ボディカラーとのまとまり感を作り出す。



ミッキートンブソンのATZに、フェーエルオフロードのクランクを組み合わせる。



JKラングラーのカスタムといえば、爽快なリフトアップに、アフターパーツを多数装着したスタイルを思い浮かべるかもしれない。しかし、すべての人がそうではなく、ノーマルのフォルムを崩すことなく、スタイリッシュに乗りたくて考えている人も多いのも事実。そのような人にオススメなのが、このJKラングラー・アンリミテッドである。

これにフェーエルオフロードのホイールを組み合わせているのだが、20インチサイズということで、インパクト満点。また、ヘッドライトやウィンカー、サイドマーカー・フォグランプ・テールランプと、ランプ類をブラックタイプで統一することで、まとまりのあるスタイルを作り上げている。

■ Specifications

- ・ミッキートンブソン：ATZ・285/55R20
- ・フェーエルオフロード：クランク・マットブラック&ミルド
- ・1インチリフトアップスパーサー
- ・ジャオス：フロントスポーツカウル
- ・ロストラ：フェンダーLED デイライト
- ・レコン：LED ターンシグナルレンズ (スモークタイプ)
- ・LED テール

リアバンパーもブラックにペイントをして統一感を図る。ノーマルの雰囲気を残しつつ、20インチホイールに換装など、カスタムポイントが素晴らしい。



ヨコハマ・ジオランダーMT+の35インチサイズを、ゼノンのフラットフェンダーで収める。



スミッタビルトのXRCモジュラーバンパーに、バンパーエンドをプラス。



スミッタビルトのXRCリアバンパー、タイヤキャリアはこのようにスイングする。



シナジーの3インチリフトアップキットに、FOXのショックアブソーバーを組み合わせる。



続いて紹介するのは、JKラングラーカスタムの王道とも言えるリフトアップスタイル。これに前後バンパー、さらにはフラットフェンダーまで装着。カラーも珍しいコマンドグリーンで、個性的なJKラングラーに仕上がっている。

まず足回りだが、シナジーの3インチリフトアップキットでリフトアップ。これにフォックスの2・0パフォーマンスシリーズショックアブソーバーを組み合わせている。

このリフトアップによって、タイヤはヨコハマ・ジオランダーM/T+で、サイズは35×12・50R17を選択。35インチサイズのタイヤを装着。35インチ

■ Specifications

- ・ヨコハマ：ジオランダーMT+・35×1250R17
- ・プロコンプ：7089・8J×17（-6）
- ・シナジー：3インチリフトアップキット
- ・FOX：20パフォーマンスシリーズショックアブソーバー
- ・ゼノン：フラットフェンダー
- スミッタビルト：XRCモジュラーバンパー&エンド
- ・スミッタビルト：XRCリアバンパー&タイヤキャリア

3インチアップ+35インチタイヤを装備した定番カスタムと言える仕様。とはいえ、特長あるバンパーやフラットフェンダーによって、個性的なJKラングラー・アンリミテッドに仕上がっている。

35インチタイヤ装着の王道カスタム

後々カスタムするのであれば、最初からリフトアップしているクルマに乗りたい。そう考えている人も多いことだろう。AXには、数多くのカスタムJKラングラーが並んでいるが、その中から一台紹介しよう。





限定車スペシャルエディションを 4インチアップスタイルで格好良く

日本限定100台の2002年発売モデルである「スペシャルエディション」。販売台数の少なさゆえ、ほとんど見かけることはない仕様だが、ジープ専門店のAX(アックス)にカスタム仕様が販売されている。TJラングラーを手に入れるなら、このような希少を狙うというもありだぞ。

ジープはカタログモデルだけではない。特別仕様限定車が多い車種である。日本の特別仕様車は、装備を追加して価格を抑えたお買い得モデルが多いが、ジープはその目的に合わせて、仕様変更を行なう、まさに特別仕様モデルである。

ここで紹介するAX(アックス)が販売しているTJラングラーは、2002年のスペシャルエディション。限定100台の希少なTJラングラーである。細かな仕様については、別企画の「TJラングラーの遍歴」を見ていただきたいのだが、フルドアではなくハーフドアが魅力的な一台だ。

このスペシャルエディションに、カスタムを行なっている。まずはタイヤだが、ヨコハマ・ジオランダーA/T-Sで、285/75R16サイズを装着。TJラングラーに285(33インチ)サイズとなると、かなり大きいサイズで、リフトアップは4インチ。プロコンプの4インチリフトアップキットを使用している。

また、285サイズともなると、純正フェンダーでは収まりきらず、プッシュオーバーのポケットスタイルのオーバーフエンダーを装着。純正のデザインを崩さずにワイド化を図っている。

またホイールだが、人気の高いミッキートンブソン・クラシックIIを装着。足下のドレスアップに一役買っている。

このほか注目なのがフロントバンパーで、XRCスタイルウインチバンパーを装着。サイドが切れ上がったデザインで、フロントからタイヤが見えることで、より車高が高く、また引き締まったフロントマスクとなっている。

室内は真っ赤なシートで、ボディ色のパトリオットブルーとの対比も効果的。撮影用のオーブンにしてみたが、ハーフドアだけあり、よりオーブンスタイルは、やはり格好良いものがある。

TJラングラーは2006年モデルが最終で、それ以後以降はJKラングラーとなるのだが、まだまだTJラングラーは人気がある。ただ、さすがに年月が経過しているので、中古車市場でもなかなか良い車両を購入するのが難しくなってきている。TJラングラーの購入を考えているのであれば、今回紹介したスペシャルエディション以外のクルマもAXでは用意しているの、ホームページをぜひチェックしていただきたい。





純正フォルムを崩すことなくワイド化しているので、スタイリングもいい。



ブッシュワーカーのポケットスタイルオーバーフェンダー(フェンダーフレア)でワイド化を図る。



フロントバンパーはサイドが切れ上がったデザインのXRCスタイルウインチバンパー。ウインチの装着も可能だ。



アメリカな雰囲気を醸し出すサイドステップ。車高アップしているのでも、乗り降りに重宝する。



リアもフロント同様のキットを使用。ラテラルロッドをダウンしていたりと、きっちりと補正されている。



サスペンションは、プロコンプの4インチリフトアップキットを使用する。



真っ赤なシートがインパクト満点! ハーフドアなので、オープンにすると、さらに開放感が高まる。



ホイールは定番とも言えるミッキートンプソン・クラシックII。アメリカな雰囲気を醸し出している。



タイヤはヨコハマ・ジオランダー A/T S で、285/75R16 サイズを装着。乗り心地を考え、オールアレーンを履く。

